



2023年(令和5年)6月30日

発行: 東京都立大学  
附属高等学校同窓会  
〒152-0023  
東京都目黒区八雲 1-1-2  
桜修館中等教育学校内  
編集: 同窓会報編集委員会

# 3年ぶりに開催、7学年が一堂に 第6回「八雲が丘ホームカミングデー」

20、21、22期、45、46、47期、桜修館1期

昨年11月27日、第6回「八雲が丘ホームカミングデー」が3年ぶりに開催されました。

コロナ禍により2年続けて中止になっていたため、都大附高卒業後50〜52年、25〜27年の6学年が対象となり、今回から桜修館卒業10年の1期生も加わって計7学年が対象でした。

会場は桜修館のメインアリーナ(体育館)。1500名を超す卒業生が一堂に会する「大」ホームカミングデーとなりました。

同窓会理事長、桜修館校長、桜修館PTA会長の歓迎の挨拶の後、恒例の各学年によるスライドやビデオ



の上映で盛り上がりました。コロナ感染予防のため、入場の際の消毒や会場の換気などに気を配り、式典後

の懇親会はおこなわれませんでした。一方、桜修館のご協力を得て、休日にもかかわらず校内外見学は行われ、

充実した設備に感心したり、4階からの景色を楽しんだり、大いに好評でした。解散後は、それぞれ懇親

会やクラス会などが行われた学年もあったようです。☆ 今年の第7回ホームカミング

デーは、10月後半〜11月上旬に開催の予定です。対象の学年の皆さんには、個別にご連絡を差し上げます。

## INDEX

- 1〜5 第6回「八雲が丘ホームカミングデー」特集
  - 22期・内田 稔
  - 46期・轟 智明
  - 45期・水島 鮎子
  - 47期・阿久津 千勢
  - 桜修館1期・鈴木 円香
  - 21期・小杉 秀之
- 6 桜修館・石崎校長先生メッセージ
- 6〜7 第74回記念祭グラフ特集
- 8〜9 第10回「八雲が丘賞」  
美術部が受賞、奨励賞は写真部
- 9〜11 10周年記念  
「八雲が丘賞」表彰状アーカイブ
- 10〜11 「八雲展への誘い」  
29期・瀬川 智貴
- 11 「大樹におんななさい」  
20期・杉山 夢熊
- 12 「牛臥やギャボ校長が 夢の跡」  
恩師 久野 猛先生
- 13 「泣き虫ナンキン、ろく校長」  
2期・吉松 安弘
- 14〜15 <事務局インフォメーション>  
4年ぶり定期総会開催、会議記録  
合唱サークル発足、八雲が丘文庫  
2022年度事業報告、決算報告  
訃報、会費納入のお願い  
同窓会への連絡方法、編集後記
- 16

### HCD 特集

## 22期同期生HCDで 再会を楽しみました

内田 稔・22期

盛況だった22期同期会  
パーティーから3年が経ち、  
待ち望んでいた同期生の再  
会が実現しました。令和4  
年ホームカミングデー(H  
CD)参加の順番が回って  
来たからです。同期会では  
HCD開催決定と同時に、  
各クラス会幹事から級友達  
に出席依頼をかけて一人で  
も多くの級友が集まるよう  
に努めてまいりました。

残念ながら、当日は同期  
全員で19名と3年前のパー  
ティの約20%の参加となり  
ました。やはり、新型コロナ  
ン感染の影響で参加を躊躇  
する方が多かったようです。  
それでも、集まった同期生  
は久しぶりの再会を祝い、  
お互いの老け具合に笑い、  
近況報告に言葉を弾ませて  
楽しい時間を過ごす事が出  
来ました。また、一段落着  
いた所では一緒に記念撮影  
も行いました。

式典でのアトラクション  
では、私が22期を代表し

て、C組堀越久美さんの夫  
でスペインで活躍された画  
家の故・堀越千秋さんの業  
績をスライドショーで紹介  
し、その功績を称えました  
このプレゼンの件は後日、ス  
ペイン在住の久美さんにも  
メールでお伝えしました。

式典終了後には桜修館校  
舎内の見学ツ  
アーに参加  
し、現役時代  
よりも遙かに  
モダンな施設  
や設備の素晴  
らしさに同期  
生一同は目を  
輝かせ、驚き  
の声をあげる  
場面もありま  
した。

HCD終了  
後には都立大  
学駅周辺のお  
店でミニクラ  
ス会を開催し  
たクラスもあ  
り、コロナ感



染に気を付けながらも盛り  
上がったようです。  
同窓会事務局の皆様、企  
画から準備と運営までお疲  
れ様でした。記憶に残るH  
CDになりました。ありが  
とうございました。  
(22期同期会会長)

### HCD 特集

## ホームカミングデー2022

轟 智明・46期

同日夜にFIFAワールド  
カップカタール2022  
日本VSコスタリカ戦を控  
える中、コロナ禍で開催が  
見送られていたホームカミ  
ングデーなるものが3年ぶ  
りに開催された。しか  
も前後の学年と合同で盛大  
に！私たちは平成8年卒  
業の第46期。卒業後約25年  
の月日が流れたが久しぶりの  
声掛けにもかかわらず38  
名が参加してくれ当時は懐  
かしむことができた。みん  
な、忙しい中本場にありが  
とう！あの日の場所が  
それぞれ何かしら懐かしさ  
を感じてくれ、楽しんでく  
れてくれれば嬉しく思います。

ところで何を書けば46期  
の皆が興味を持って本稿を  
読んでくれるだろうか？ふ  
と考えたが、ここは高校当  
時からお付き合いをしてい  
る妻との事も多少書かざる  
を得ないだろう。うん、や  
むを得ない！付き合ったの  
は高校3年生の記念祭後く



らいからだ、1年生の頃  
から隣のクラスではあった  
が気にはなっていた。2年  
生になり同じクラスになっ  
た。こちらへんから運命が  
始まっている。この人、ざっ  
くばらんな遠慮のない、ず

ぱっとした感じだなあと思  
うと惹かれていった。付き  
合うに際し協力をしてくれ  
た村上孝一と柴原奈緒子に  
はスペシャルサンクスを送  
りたい。ありがとう！  
時は流れ二人の娘と妻と

### HCD 特集

## 高校時代は宝物

水島 鮎子・45期

「とにかく、この人に連絡  
してみて」と同級生から伝  
えられた連絡先は2年先輩  
のメールアドレスでした。  
今思うと、これが「特大ホー  
ムカミングデー」開催の始  
まりでした。世の中は新型  
コロナウイルス感染症のた  
めに非常事態が続いていて、  
同窓会を開催できる状態は  
はなく、1995年3月に  
卒業した私たちの代のホー  
ムカミングデーは保留のま  
まに時が過ぎていました。  
毎年、仲の良い仲間たちで

集まっていた忘年会も2年  
ほど開催せずに、みんなに  
会いたい気持ちも高まって  
きていたところではありま  
した。

そして迎えたコロナ明け  
(という社会の雰囲気)の兆  
しの中、冒頭の連絡先の先  
輩と初めてお会いして、ホー  
ムカミングデーの開催決定  
を知ることになります。そ  
して、今回は保留されてい  
た3代分(45期・46期・47期)  
と大先輩3代分の6世代ま  
とめての特別に大規模な

ホームカミングデーとなる  
ということでした。これは  
つまり、私たちが3年生だっ  
た時の後輩2年分の大集合  
ということ、SNSでつ  
ながった後輩たちにすっか  
り忘れていた先輩風を吹か  
せてしまいました。男子バ  
スケ部のマネージャーをし  
ていた私にとって、部活の  
後輩たちと再会できること  
はとても懐かしくて、嬉し  
いことです。そこから、3  
代分の幹事たちと準備が始  
まりました。どうやって人  
を集めるのか、会場で流す  
VTRをどう作るか、当日  
の受付はどうするか等、み



んな動き盛りで子育て盛り  
のコロナ明け目前という中  
で、幹事たちもがんばりま  
した。  
私は、2年前に少し闘病  
していて、命拾いとも言え  
る病気を克服したこともあり、  
同窓会に向けての気持ち  
が強くありました。命と  
向き合って改めて考えてみ  
ると「人生において大切な  
もの」が見えてきます。私  
にとって高校時代はきらき  
らしていて、かけがいのな  
い宝物みたいな時間だった  
と思います。あの頃の空気

元消防団で活動している。  
そこに桜修館をこないだ卒  
業したばかりの20歳の女性  
が入団してきた。ちょうど  
前年にホームカミングデー  
に参加したこともあり、手  
元のスマホに当時の卒業ア  
ルバムデータを持っていた  
ので見せると、すっかりク  
ラスマッチや記念祭の話で  
意気投合する話が出来た。  
都立大附属高校は当時から  
感じていたが男女や部活の  
垣根なく友達付き合いが出  
来る、良い高校だったと思  
う。そして今25歳年下の女

性とも会話が弾んでいる(つ  
もり)。話を聞くと彼女の父  
親も都立大附属高校卒業生  
らしい。私も子供が桜修館  
に行ってくれたらいいなど  
思う。そしたら家族全員都  
立大附属(桜修館)だなな  
なんて、そんな思いを馳せら  
れるのも幸せだ。  
最後に、企画運営に携わっ  
て頂いた幹事の方々、受付  
をして頂いた同期、映像を  
作成頂いた45期の先輩に感  
謝申し上げ、本稿の結びと  
したい。ありがとうございました。  
たりでした。思っていた以  
上に当時の面影の残ってい  
る校舎の見学も、記憶の箱  
からいろいろな想いが溢れ  
出してきました。本当に楽し  
かったです。  
この日のために学校を開  
放して頂いた現在の都立桜  
修館の先生方に感謝いたし  
ます。そして、ここまで同  
窓会を守って来ていたたい  
だ理事会の先輩の皆様、あ  
りがとうございました。こ  
の熱量を後輩たちに、樺の  
ように繋いでいければと思  
います。

### HCD 特集

## ホームカミングデーに参加して

阿久津(旧姓戸栗)千勢・47期

「ホームカミングデー」このような企画が毎年、同窓会を通じて開催されているという事を知ったのは10月下旬のことでした。開催にあたり、私達47期の幹事がおらずお願いできないかという連絡をいただきました。

開催日まで約1ヶ月、そこから連絡が取れる同級生に声を掛けたいのですが、やはり1ヶ月後という事もありません。当日は12名の出席となりました。

今回はコロナ禍で3年ぶりの開催という事もあり、卒業して25年の期である私達47期の他に、45期、46期の先輩達との合同開催という事も楽しみました。

私は高校時代サッカー部のマネージャーを務めていた為、20年以上ぶりに先輩方ともお会いする事ができました。

私にとって高校時代の3年間は人生の中で一番楽し

く充実した時間でした。そこで出会った友人とは今でも交流があり、皆で集まれば一瞬で25年前にタイムスリップしてあの頃に戻ります。

今回、有り難い事に桜修館の先生が校舎の案内をしてくださいました。当時のままの場所や新たに増築された場所もありましたが、授業をサポートしていた階段、朝日ペーカリーさんがパンを売りにきていた渡り廊下、練習試合の依頼電話があるトクッシュで向かった事務室など、各所を通る度にあの頃の情景が思い浮かび懐かしさで胸がいっぱいになりました。

都立大学附属高等学校という学校の名前はもうありませんが、名前が変わっても25年前の思い出はそのままでした。

コロナ禍の中でも開催を決断し準備を進めてくださった同窓会理事の皆様、

一緒に幹事を務めた45期、46期の先輩方、47期のスライドショーを作成してくれた45期の先輩方、心より感謝いたします。特に先輩方とは在学中はあまり接点がなかったものの、このような形で交流でき合同開催で良かったなと思いました。

### HCD 特集

## 憧れた自由と自治

鈴木 円香・桜修館1期

校門の桜が満開に咲いた卒業式。あれから十年が経った。毎日一緒に居た友人達が仕事で活躍し、家庭を作っている。それぞれの人生をより豊かにしていく姿を目の当たりにし、月日の流れを感じている。

一期生というのは、本来先輩がおらず、自らで開拓していく立ち位置にある。

しかし、我々の中で先輩がいないと感じた者はいないと思う。それは、急に高校生の中に入って来た小学校を卒業したばかりの中学一年生を受け入れてくださった都大附の先輩方のおかげである。

他の中等教育学校と違い、二校は学校名も校風も異なる。部活動、クラスマッチ、



記念祭、合唱コンクール…全てを分けて行った方が楽だということも容易に想像がつく。しかし、先輩方はどうやって一緒にいることができるのかを考え、実行して下さった。私が入部した女子バスケットボール部では、体も小さく初心者で相手にならないのに、基礎から丁寧に

先輩方が教えて下さった。同じチームとして強くなれるよう毎日一緒に練習に励んだ。

学校行事では、私たちが実行委員として先輩方と行事を作る立場になると、共に考えることで「自由と自治」を体感することができた。どうしても生徒が楽しむことができないのか、自由の中にも守るべき規律をどのように保つか。それを先輩方は常に考えられていたように思う。

桜修館生も校風になくても、学校生活をより充実にするために、考え、行動する姿があったのは、都大附の行動力に憧れ、背中を皆が見ていたからだろう。



### HCD 特集

## HCDアーカイブ・プレゼン 資料作成苦労

小杉秀之・21期

事務局も開催スケジュール短い中の運営で、大変な苦労があったと思います。が、当方もそれなりの時間を取られた。そもそも当初はアーカイブ・プレゼン資料作成依頼がなく、当日の21期の懇親会会場探しの協力依頼だったので承諾したが、いつの間にかプレゼン資料作成依頼が追加され、時間的に無理かと思ひ、最悪は21期のプレゼンなしの了解を得た経緯がある。

①過去の思い出の共有で、メールで依頼しても同期からのエピソードが集まらないという事態になったこと、小杉と同期ND君との独断と偏見の内容(主にアルバムと小杉保持の資料)にならざるを得なかった。ちなみに同窓会名簿のメアド48件と同期ND君独自メアド20件宛てにHCD開催通知と懇親会参加の勧誘メールを2人で

出したが、レスは12名、懇親会参加者は6名で、コロナ禍で自粛モードの世相が反映されていたと考えられる。当日のHCD参加者は9名集まった。校舎バリエード封鎖体験の受け取り方が20期、22期の方がたとは異なり、ほかの期に比べて21期は参加者が異様に少ないように感じられた(もとも同期会開催頻度が低く有志開催が多い)。ちなみに14、15、16期の方とは、たまにある会合で会いますが、校舎バリエード封鎖の話をしてもしんどくない印象ですね。

②資料作成ではMUST要件とWANT要件の切り分け、明確なガイドラインがなく、小杉と事務局との見解の相違が最後まで違和感を残した点、コロナ禍で時間的に無理なスケジュールと小杉の理解処理能力が乏しく、ドタバタ劇のようなメールのやり取り

で構想が固まるまで時間だけが過ぎていった。

③個人的な事情で、IT環境が不自由(スマホメールでの長文のやり取りで、PCでのKBやマウスが使用できない)なことや、平日は妻が仕事で夕食当番、ちょっと娘が里帰り出産で11月末まで赤ちゃんと一緒にいて等、家事などに時間が取られる中、時間的・精神的に余裕がなかった。なお、ND君は仕事とボランティアも抱える多忙の中、良く協力してもらい多謝。

参考までに時系列的経緯

10月23日：同窓会定期総会で11月27日HCD開催説明、その席で21期の懇親会の会場探しの手伝いと、小杉のわかる範囲の連絡先メールに懇親会出席の勧誘を依頼される。その際に小杉から名簿の最新版連絡先リストの提出依頼をした。10月31日：会場探しだけ

でなく、当日のアーカイブ紹介資料作成の依頼が突然来た。「HCD出欠リストは集計してない、必要があれば、各期で把握」との通知あり。

結局、同窓会2005年名簿と同期ND君の持っているリストで勧誘と在学中のエピソードの連絡を依頼したが、結果は上述の通り。

11月2日：15期事例紹介、17期動画紹介のメールがあったが、WANT要件満載の立派な資料準備は今回のコロナ禍での開催では無理があると直感。コロナ禍の1ヶ月弱での資料作成については、自分だけでなく、いろいろ批判が出ていた。依頼の最初にMUST要件のガイドライン(プレゼン様式概要、フォーマット、当日のプレゼン方法、マイルストーン時間軸など)が欲しかったですね。WANT要件は、コロナ禍前とコロナ禍後での環境変化により、無理にアーカイブ紹介までやるかの必要性に關しての見解の相違も小杉から連絡。

その後、何度もやり取りしてポロポロと要求事項が増えていった。文書化されたガイドラインがあれば、無駄なやり取りの時間が減ると思うので作成すべきと思った。例えば、最初、資料はプレゼン当日持ち込みでも可だったが、当日2日前までにオーラル原稿内容確認したいと直前に通知あり。

なお、PCでFBメッセージを使うと大量の写真、パワポ資料も転送できるのがわかり、スマホでのやり取りに比べ格段の生産性向上。ただし、同窓生でFBやっている方は少ない。若い人はLINEだし、今後は情報伝達のツールを郵送、メールの他にどうすればよいか考える必要性がありそう。

内容の絞り込みにはギリギリまで苦労しましたが、パワポの見栄えについては事務局の佐々木先輩には大変お世話になりました。

11月25日(金)になって文字の大きさは28ポイントの追加連絡あり。プレゼンスタイルも自分の過去の経験とは考え方が違うので、

早めにガイドラインがあればと実感。プレゼン当日、プレゼン資料のPC操作は事務局がやりリーダーポイントを用意してないことが判明。プレゼンターがカーソル操作しないなら、ポイントには用意するはずだという小杉の常識と、事務局の常識との温度差がここでも露呈。

☆

以上、独断的かつ批判的な内容はありますが、今年以降のHCDアーカイブ資料作成関係者にとって、少しはお役に立つ情報もあるかと思ひ敢えて辛口経緯を紹介した次第。余談ですが、当日プレゼン終了後に22期K君が挨拶に来てくれ、今日のプレゼンの中で一番良かったこのコメントをもらい、苦労も吹っ飛んだ。彼とは20歳時に会って以来50年ぶりの再開で最初は分からなかったが、在学中に21期NI君(後に著名な考古学研究者になった)らと一緒に群馬県の高橋群巡りした話をしてくれて、すぐに思い出した。



### 第1回 八雲が丘賞 日本文化茶道部門

#### 八雲が丘賞

都立桜修館中等教育学校  
日本文化茶道部門の皆さん

皆さんはこの一年間、東京大茶会高校分野の部、高校文化祭茶道部門中央大会など、東京都の大きな大会で活躍される一方、他校との交流や地域イベントへの参加により、学校生活をより実りあるものにしてこられました。また茶道を通じて桜修館の存在を広く印象づけることにも寄与されました。学校部活動の模範ともいふべき活動に敬意を表するとともに、今後ますますの活躍を期待して、ここに第1回「八雲が丘賞」を贈ります。

平成25年9月16日

### 第2回 八雲が丘賞 フィールドワーク部

#### 八雲が丘賞

都立桜修館中等教育学校  
フィールドワーク部の皆さん

皆さんはこの一年間、多岐にわたる活動をされました。興味ある地域を回り下げて調べる地理巡検、都内の史跡や施設の見学など知見を深めるフィールドワーカーとしての活動の一方、地域のお祭りや清掃に参加するボランティア活動にも、力を注いでこられました。また記念祭での学校案内は、桜修館を目指す小学生に大変好評を博しています。学園生活をより豊かなものにする、皆さんの幅広い活動のあり方に心から敬意を表し、ここに第2回「八雲が丘賞」を贈ります。

平成26年9月8日

#### 「八雲が丘賞」規定

- 趣旨**  
この賞は、東京都立桜修館中等教育学校の生徒による優れた部活動、課外活動に対して、東京都立大学附属高等学校同窓会から贈られるものです。
- 賞と対象期間**  
賞の対象期間は、4月から次年3月までの1年間とし、「優秀賞」および「奨励賞」の二つを設定します。2年以上にわたって顕著な実績を上げた活動に対して「大賞」を贈ることがあります。賞は、記念品または同等金額の活動費支援とします。
- 基準**  
賞の選考基準は以下によります。  
①年間を通じて継続的に活動を展開し、十分な実績を上げたもの  
②前年度に比して活動の内容に顕著な向上が見られたもの  
③対外試合、コンクールなどで優秀な成績を上げたもの  
④その他桜修館生徒にふさわしい優れた活動を行ったもの
- 選考**  
対象となる活動について桜修館中等教育学校の推薦をうけ、都大附高同窓会理事会において決定します。
- 賞の贈呈**  
前年度の受賞活動に対し、原則として次年度記念祭の期間中に表彰し、賞の贈呈を行います。



★ ★ ★ ★

10周年記念

表彰状アーカイブ



奨励賞を受賞した写真部員の皆さん

た写真、スマホでふとした瞬間を切り取った写真。この先も、写真の持つ様々な可能性を追求してほしいと感じました。

八雲が丘賞は、両校をつなぐ絆

しょうか。この賞が生徒諸君に喜んでもらえる賞になれたいと思います。



### 八雲が丘賞 奨励賞

東京都立桜修館中等教育学校  
写真部のみなさん

写真には三つの要素があると言われます。記録、伝達、表現の三つです。報道写真は記録と伝達、被写界深度を生かした花の写真などは表現の要素が大切です。驚くべきことに、今年の記念祭で写真部が出展したmirageでは、発表された作品群でこの三つのバランスが絶妙でした。部員が増えつつある今、さらに写真の持つ奥深さを楽しみ極める部活動の展開に期待して、ここに「八雲が丘賞 奨励賞」を贈ります。

2022年10月21日

東京都立大学附属高等学校同窓会  
理事長 穴戸 迪武



## 八雲が丘賞10周年 節目の第10回は美術部が受賞 奨励賞受賞は写真部



記念すべき第10回の受賞、美術部の皆さん

第10回を数えた「八雲が丘賞」は、美術部が2016年の第4回に続き、二度目の受賞となりました。また、同時受賞の奨励賞は写真部が受賞しました。こちらも2015年に続く受賞です。

このように美術部の水準の高さは、実は旧制府立高都大附高から引き継いだ伝統に裏打ちされているようにも感じます。この会報に掲載されている「八雲展」は、そうした伝統の象徴です。若い桜修館の現役生、卒業生が、「八雲展」に出品する様になればと思います。一方、写真部の記念祭展示も人気でした。スマホの普及と、そのスマホに搭載されたカメラの高性能化で、「写真を撮る」行為の意味も質も大いに変化しています。それが展示に反映されているように感じました。一眼レフでじっくり狙っ

昨年の記念祭展示「おかしな絵美展」でも多種多様な表現が大受好評でした。東京都高等学校文化連盟の「中央展」で最優秀賞を獲得した作品は、東京都美術館での展示でも評判だったようです。



東京都高等学校文化連盟「中央展」  
最優秀賞の美術部員作品



美術部員の切り絵作品「Magic Circle」

### 八雲が丘賞

東京都立桜修館中等教育学校  
美術部のみなさん

美術部の「絵美展」が記念祭に登場したのは7年前。今年は記念祭のテーマにちなみ「おかしな絵美展」でした。この軽妙なネーミングと地に足のついた部活動の中身とのちょっとした乖離が、実は美術部の本質だと思われたい。軽妙で楽しい、しかし地道な努力が「中央展」での最優秀賞や記念祭での高い評価などに結びついています。多様な個性を持つ皆さんが、多彩な創作活動を展開していることに敬意を表し、ここに第10回「八雲が丘賞」を贈ります。

2022年10月21日

東京都立大学附属高等学校同窓会  
理事長 穴戸 迪武

師の出  
恩恵

都高には名物先生が揃っていて、それぞれに思いがありとても書きまきることができない。そのお歴々の中で、私は敢えて畠田先生を挙げたい。

畠田基雄先生。私が授業を受けた最初の印象は、失礼ながら風采の幾分上がらぬ好教師としか思えなかった。

半ば破れた紺色のコート  
を年中着ておられ、そのま  
ま黒板に寄りかかると、背  
中はチョークで真っ白。小  
さな声ではぼそぼそと独り言  
のようにつぶやへ授業。返

大儒におんななさい

杉山夢熊・20期

り点だの送り仮名だのは  
早々に済ませ「大英雄だっ  
て若いころは大殺しだった  
んです」。延々とそんな話が  
続く。言葉の端々からは  
竹内好と交流があった中国  
思想史の泰斗であるなどと  
は思いもよらなかった。

さて、極めつけは試験だ  
った。白文十問に訓点をつ  
けるといふ難問。一問のな  
かで一箇所でも間違えると  
×。私はこの先生から、最  
初で最後の零点を頂戴した。  
悔しかった。自分の馬鹿さ  
加減に愛想が尽きた。しか  
し、このままでは単位をい

ただけないので、論文提出  
で穏便に済ませていただい  
た。確か「韓非子」につい  
ては丸写ししながら一五〇  
枚ほどに仕上げ、難無きを  
得た。その論文を提出した  
とき畠田先生目を細めて曰  
く「あなた大儒におんなな  
さい。今を置いて学問に励  
む時期はありますね」

卒業してしばらくの頃畠  
田先生のご逝去を知った。  
大慌てで葬儀に臨んだ。そ  
の時なぜか涙が止まらな  
かったことを覚えている。

私は孔子も孟子もまじめ  
に読むことはなく、理工系  
の大学に進学し精密機器メ  
ーカートのエンジニアとして  
職業生活を終えた。

退職後、本気で漢文に取  
り組む時間ができた。かつ

てないほどの熱意で漢籍を  
読み漁った。併せて現代中  
国語も学んだ。そして、中  
医学を学ぶために年甲斐も  
なく上海に留学した。

こうして多くの中国人と  
交流し、彼らの思考回路に  
は今も古典が息づいている  
ことに気づいた。その瞬間  
畠田先生が授業で話された  
ことごとくが走馬灯のように  
脳裡を駆け巡り、ああ先生  
の言葉は真実だった、と悟  
ったのだ。

『先生、私は儒者にはなれ  
ませんでしたが、今更なが  
らに漢学に動かしんでおりま  
す。私の今日あるは偏に先  
生の一言のおかげです』右  
駄文をもって、畠田先生へ  
の追憶の記に代えます。

しかし、初期の会員であ  
った旧制の方々が年々少な  
くなり、昨年はとうとう一  
人となってしまいました。  
幸い今のところ新規会員も  
増えて、会員数は維持して  
おりますが、高齢化の波は  
確実に押寄せてきておりま  
す。折角このように、先輩  
方の尽力によって続けてこ  
られた展覧会ですから、こ  
れからも引き続き若い方々  
にもご参加いただき、パト  
ンを繋いでゆけたらと願っ  
ております。



美術を創作してゆくこと  
は、歳をとっても一生続け  
られる趣味であり、生き甲  
斐にもなります。そして出  
来上がったら、それを発表  
出来る場が既にちゃんと用  
意されている！さあ、あと  
はこれに乗っかって、思い  
のまま創作に励むだけです  
よね？上手、下手なんて関  
係ありません。続けてゆく  
ことが大切なのです。リタ  
イアされた方は勿論、まだ  
現役で仕事に忙しい人も  
今から始めておくと、その  
後の人生に豊かな花を添え  
ることを保証します。

ぜひ、皆さまの参加を、  
心よりお待ちしております。  
また、校修館中等教育学校  
の皆さん方にも、ご参加い  
ただけるよう、今後、様々  
な案を計画してゆくつもり  
です。

第41回展は、今年5月12  
日〜17日に開催され、盛況  
のうちに終了しました。

八雲展詳しくお知りになりたい方は、コチラ！

第8回 八雲が丘賞  
日本文化部かるた班

八雲が丘賞  
東京都立校修館中等教育学校  
日本文化部かるた班の皆さん

近年の日本文化部かるた班の躍進には目覚ましいものがあります。全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会の東京予選では上位入賞の常連校。今年も4位の成績を取めました。また高等学校総合文化祭かるた部門の実行委員として多数の部員が活動し東京代表チームにも参加しています。こうした実績は、優れた指導のもと部員同士の切磋琢磨の中から競技力を養ってきた賜物です。充実した部活動に敬意を表し、ここに第8回「八雲が丘賞」を贈ります。

2021年10月22日

第9回 八雲が丘賞  
軽音楽部

八雲が丘賞  
東京都立校修館中等教育学校  
軽音楽部のみなさん

新型コロナウイルスの難しい状況になる前、記念祭で軽音楽部の出演時間にサブアリーナを覗いてみれば明らかでした。そこには多くの聴衆、ファンがいて音楽を通じてステージ上との密な交流がありました。各バンドが繰り出す練習の成果は、校修館の音楽的水準の高さを示すものでもあります。軽音楽部の皆さんの、軽くない努力に敬意を表し、今後も聴く人の心に響く多彩な表現と技術を磨くことに期待を込め、ここに第9回「八雲が丘賞」を贈ります。

2021年10月22日

第7回 八雲が丘賞  
前期サッカー部

八雲が丘賞  
東京都立校修館中等教育学校  
前期サッカー部の皆さん

校修館サッカーには旧制府立高以来のサッカーの伝統があります。都大附高OBによる校修館サッカー部の活動に対する支援はその伝統と両校の絆を示す好例です。そのような中、「感謝、謙虚、率直」をモットーとする前期サッカー部は、東京都中学校サッカー選手権大会予選で日原区3位となり区内上位を維持しています。学校周辺の清掃活動を行うなど、サッカー以外の活動に取り組む姿勢にも敬意を表し、ここに第7回「八雲が丘賞」を贈ります。

2019年9月9日

第7回 八雲が丘賞 奨励賞  
前期女子バスケットボール部

八雲が丘賞 奨励賞  
東京都立校修館中等教育学校  
前期女子バスケットボール部の皆さん

スポーツを通じた人間的な成長を目指している前期女子バスケットボール部は、運動部の中で最も部員の少ない部です。けれども公立中高一貫校交流バスケットボール大会で優勝するなど、小銃でもピリッと辛い存在です。バスケットボール人気が急騰中の今、今後は部員の増加も見込まれ、目標の都大会出場も夢ではありません。前期女子バスケットの一層の充実と活躍に期待を込め、ここに「八雲が丘賞 奨励賞」を贈ります。

2019年9月9日

第5回 八雲が丘賞  
科学部

八雲が丘賞  
東京都立校修館中等教育学校  
科学部の皆さん

皆さんは昨年度、生物部の活動として生物の飼育、観察や科学実験に著実な成果を残されました。特に自然生態系の観察モデルとして校内に整備したヒオトトギスのは特筆されます。また、科学の甲子園、化学グランプリに参加して好成績を取られました。歴史ある生物部の伝統を引き継いだ科学部の皆さんの真摯な活動に心から敬意を表し、理数研究校に指定された校修館の中核として大きく飛躍されるよう期待を込め、ここに第5回「八雲が丘賞」を贈ります。

2017年9月11日

第6回 八雲が丘賞  
創作部

八雲が丘賞  
東京都立校修館中等教育学校  
創作部の皆さん

言葉による表現とイラストでの表現を共生させる創作部の在り方は実にユニークです。そして活動の実績はユニークなだけではありません。小諸藩村文学賞をはじめ多くの賞に応募、好成績を取られてきました。定期的に発表される「歳時記」と「一日一語」および記念祭での展示「こころこぼれ」は、常に高い評価を得ています。ユニークな創作活動に敬意を表し、今後も個性豊かな作品が発表されるよう期待してここに第6回「八雲が丘賞」を贈ります。

2018年9月10日

第3回 八雲が丘賞  
写真部

八雲が丘賞  
東京都立校修館中等教育学校  
写真部の皆さん

皆さんはこの一年間、校内や撮影旅行さまざまな事象を撮影してこられました。校修館三大行事の取材や学校紹介など、成果の一部は学校のホームページでも見ることができます。また第66回記念祭における「色と光のサーカス展」は、企画力、技術力ともに高い水準を示して好評を博し、写真部の存在感を一層高めました。皆さんの活動の幅広さと豊かさに心から敬意を表し、さらなる活躍に期待を込めてここに第3回「八雲が丘賞」を贈ります。

平成27年9月6日

第4回 八雲が丘賞  
美術部

八雲が丘賞  
東京都立校修館中等教育学校  
美術部の皆さん

皆さんはこの一年間、油彩・水彩画、版画や切り絵、粘土造形、七宝焼きなど多彩な制作活動を行ってこられました。その中から高等学校文化連盟「中央展」での出品作への高い評価、明るい選挙啓発ポスターの入選などの成果も生まれています。昨年の記念祭では、ユニークな発想と創作力を発揮した「絵美展」が大変好評でした。異なる個性がそれぞれに発揮される美術部の活動とその成果に敬意を表して、ここに第4回「八雲が丘賞」を贈ります。

平成28年9月12日

八雲展への誘い  
——第40回展を終えて——

瀨川智貴・29期

この八雲展は、そもそも旧制府立高校の創立50周年事業の一環として1979年(昭和54年)に第一回展が始まりました。当初は府立高校のOBの方を中心に、尋常科で美術を教えられていた、松岡正雄先生の教え子達(附属高7期まで)も加わり続いてきました。その後第21回展より、附属高の8期以降と、都立大学の方々も加わり、コロナ禍による2回の中止を挟みながらも、昨年(2022年)は第40回展を開くことが出来ました。

毎年5月中旬、大崎駅前のO美術館で開催される「八雲展」は、旧制府立高校、都立大附属高校、都立大学のOBがプロアマ問わず、年の差も超えて、皆さん和気藹々とした雰囲気でお出展されている展覧会です。会場には、絵画、彫刻、デザイン、工芸など多彩な作品が並びます。学生時代、美術部(美研)に入られてなかった方でも、まだ絵を描き始めて間もない方でも、卒業生ならどなたでも参加出来ますので、どうぞ先ずは一度ご覧になってみてくださー！

懐かしより 師の思い出

牛臥やギヤボ校長が夢の跡

久野 猛 (理科・1965年〜1985年)



時は経つのも忘れページを捲(めく)ってしまいました。突然、ある写真に眼が釘付けになりましたよ。都高勤務の20年間に7、8回、担任クラスの合宿行事やなにかでお世話になった沼津市牛臥海岸の宿舎だったのです。牛臥寮って、元は府立第一中学校(日比谷高校の前身)のものだったんだー！

私は、昭和60年3月に、それまで20年間勤務した都高をあとにしました。新しい人事制度による強制異動該当者第一号でした。以後三つの職場で仕事をし、平成5年4月、日比谷高校に校長として着任しました。その第一週、校長室で、着任後の最初の仕事として「日比谷高校百年史 上・中・下巻」という膨大な書籍を渉猟することにしました。まずはその下巻。各年代の記念集合写真をはじめ、さまざまな行事のスナップ写真が集められて興味深く



在りし日の牛臥・沼津寮

日比谷の現在法務省がある場所からその後の日比谷高校につながる永田町の新校舎に引越します。生徒たちに自分の机や椅子を運ばせての引越でした。ギヤボ校長は、4月に入学したばかりの一年生集団の先頭に立って「アデュー、アデュー、われらの奮(きゅう)校舎よ」という変な掛け声で士気を鼓舞していました。実は、川田はこの引越に先立つ数年間、新たな難題に取り組み、苦しみもがいていました。中高一貫構想です。彼の「よく遊びよく学べ」教育によって、高校入試が邪魔に思えてならないのです。中学入学で素質を確認しておけば高校入試はいらない。つまり一中の教育をそのまま高等学校にまで拡大すればよいと、文部省に再三具申していましたが、しかし、文部省は首をたてに振りませんでした。結局、東京府が川田の熱意に応えます。一中とは別に、中高一貫の府立学校を新設すればよいのではないかと、善は急げです。七年制府立高等学校Ⅱ尋常科



閉寮記念碑 牛臥の沼津寮は2007年3月、都立大学附属高等学校父母会の解散に伴い、沼津市に寄附しました。

師の出 恩恵

泣き虫ナンキン、ろく校長

吉松安弘・2期

「おー、誰かが堅ぢたらこー」 「堅ぢたらこー」 「体育館の扉上だ」 敗戦で学校制度が切り替えられ、旧制「都立高校尋常科」が、新制「都立大学附属高校」となって間もない昭和二六(一九五一年)。秋の記念祭最後の夜は、教室展示や舞台装置などを片付け、校庭に集まって寮歌を歌い、ファイヤ・ストームで暴れた後、サークルやグループで校内思い思いの場所に陣取り、多くの学生が、或いは芋煎餅を齧り、或いは安焼酎を回し飲みしながら、歌い、喋り、笑い、夜明けまで楽しむのが、旧制以来の習わしとなっていた。 「堅ぢたら、誰が？」 「それが、山本らしいんだ」 山本は、私の下の級の二年生。身体も態度も大きく、私たち社研(社会科学研究会)にも出入りしていたから、よく知っている。 「わらわら」 「おー、どつどつした？」 「大過なければよいがと思いつつ、みんなで溜り場を出て、まだ仄暗いキャンパスを急ぐと、黒々と大きい体育館の下に人影が幾つか、うごめいているのが分かる。 近づく、山本が仰向けに横たわっており、その身体に覆いかぶさるようになり、膝を屈した中年の男が、声を出して囁言していた。生徒にはロクさんと呼ばれている小笠原録男校長だった。いつ来たのか？ 誰が呼んだのか？ で、大丈夫か？ 体育館の屋上にはコンクリートの低い縁石があるから、山本はその上に寝ころび、風に吹かれて酔いを冷ますつもりが、つい、居眠りをしてしまったのだ。寝返りを打った拍子に、外側に、四階下のコンクリートのたたきに転落してしまっただけだ。

先日、生物班で論争があり、屋上から墜ちた猫がスックと立って着地できるか、実験をしたばかりなのに。横たわる山本はもはや動かさず、キャンパスのあちこちから駆け付けてくる生徒たちも、取り巻くだけで為す術がない。夜明けの薄暗い静寂の中に、録校長の、大人でもこんなに泣けるのか、と思うほどの囁言が高く響くはかりだった。 翌日、各新聞が報じた大見出しは多くが「学園祭夜の秘密酒宴！」。野次馬根性でセンセーショナルに学校と生徒を非難する、低俗で挑発的な扇動記事だ。そして、私たち三年生の教室では、ひそひそ声の申し合わせが回されていた。 「もし警察に、あの夜、校長と酒を飲んだか、と訊かれたら、知らぬ存ぜぬで通そう。教師たちに、我々と親しく付き合ったこと、非難を受けさせないならな」 案の定、記念祭実行委員ら数人の生徒が碑文谷警察署に呼ばれた。尋問された生徒はみんな呑川べりの飲み屋で録さんに一杯ねだ



1936年頃。写真中央の窓二つの建物が体育館

った生徒も含めて、事件の詳細には知らぬ存ぜぬを装い、取り調べの応答では随分と不安な思いはしたが、その後は学校にも、録校長にも、心配したような不都合の起きもどきは無かった。山本は気の毒だったが、取り敢えずことが収まって良かった。みんなほっとした。生徒がぐくなっていくことから、最悪の場合は、未成年者飲酒の容認とか、深夜の校舎管理不備などを理由に、校長の処分や一定期間学校閉鎖などの強硬な行政命令が出て、放母な学校だと世間の評判は地に落ち、生徒も肩身が狭くなる、そんな可能性だってあり得ただろう……そうならなくて、良かった。 法や権威や世間のモラルがどうあろうと、自分の言動は自分で判断、自分で責任を負う。この事件は、旧制高校以来の伝統「自治」と「真理探究」の誇りある気風が、どこにか格好よく残っていた、あの時代最後のエピソードとも言えようか。 私たち、此の年の三年生は、新制都立大附属高二期生であると同時に、元々は旧制七年制高校・尋常科(中学部)の時に入学した旧制最後の生徒だから、時に応じて、二つの時代に対応せざるを得ないのだ。 しかし、この頃以降は、日本を占領したアメリカ軍の命令に則った六三制改革によって、古き佳きエリート(の学舎・八雲が丘キャンパスを取り巻く社会)の在り方も、人々のモラルも、趣向が変わり、やがて、我々をも巻き込みながら、日本社会は、カムカム・エブリボデイのアメリカ式大衆民主主義へと変貌していったのである。 名残は惜しいが、生徒はむしろ、学校も教師もそ

## 事務局インフォメーション

【表I】2022年度貸借対照表(財産目録)  
2023年3月31日現在

科目・摘要	金額(単位:円)
1. 資産の部	
現金及び預金	-
現金	-
みずほ銀行普通預金	979,150
みずほ銀行定期預金	5,006,752
ゆうちょ銀行当座預金	3,254,757
ジャパンネット銀行普通預金	2,313,245
現金及び預金計	11,553,904
資産計	11,553,904
2. 負債の部	
未払金	-
負債計	-
3. 正味財産の部	
前期繰越正味財産	11,626,952
当期正味財産増減額	-73,048
正味財産計	11,553,904
負債・正味財産計	11,553,904

【表II】2022年度正味財産増減計算書  
2022年4月1日～2023年3月31日

科目・摘要	金額(単位:円)
I. 経常収益	
1. 受取会費	2,605,500
2. 寄附金	-
2. DVD等販売収入	9,000
2. 利息収益	27
経常収益計	2,614,527
II. 経常費用	
1. 会報費	
会報原稿作成費	178,200
会報印刷製本料	852,714
会報通信運搬費	1,022,244
会報費計	2,053,158
2. ホームカミングデー費	
懇親会費収入	-
懇親会費支出	-
案内送付先作成送付費用	6,174
会場等賃借料	-
HCD雑費	39,257
ホームカミングデー費計	45,431
3. 記念祭費	
通信運搬費	-
表彰金	150,000
記念祭雑費	14,872
記念祭費計	164,872
4. 経常管理費	
旅費交通費	1,100
通信運搬費	58,959
支払手数料	238,173
会議費交際費	72,282
消耗品費	21,419
雑費	32,181
経常管理費計	424,114
経常費用計	2,687,575
当期正味財産増減額(経常損益)	-73,048

監査報告:  
財務諸表、帳簿、証憑等を精査し、上記決算書に誤りがないことを確認しました。  
2023年5月13日

監事 齋原利憲

### 2022年度事業報告

2022年度は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が強かったものの、少しずつコロナ前の状況に戻りつつあった1年でした。

5回続けてメール審議とZoomによるオンライン会議を余儀なくされていた「理事・監事・評議員会議」は、上期・下期とも感染症対策を行いながら対面で開催することができました。

3年に一度の定期総会は、2021年度中には開催できず延期されていましたが、昨年10月に桜修館多目的ホールで会員約60名が出席して開催されました。(14面参照)

第74回記念祭は、ほぼ例年並みに開催され、同窓会ルーム「八雲が丘の集い」をB棟201講義室に出展することができました。

2年続けて中止となっていた第6回「八雲が丘ホームカミングデー」は、7学年が一堂に会する「大」ホームカミングデーとして、桜修館メインアリーナを会場に開催されました。

(HCD特集参照)

「八雲が丘賞」は節目の第10回を迎え、美術部が受賞。奨励賞を写真部が受賞しました。久しぶりにメインアリーナで後期生徒全員の前で表彰式を行いました。

八雲が丘学友会は、2022年5月、10月、2023年1月の3回開かれ、桜修館同窓会、学校、PTAとの情報交換が行われました。

会報は2022年6月30日にA4版12ページを発行。9,000部を印刷し国内会員に7,858部、特別会員(恩師)に151部、海外在住会員に80部送付したほか、桜修館教職員、PTA、在校生に250部を配布しました。名簿の管理状況は、ホームカミングデーが行われたこと、ホームページのメールフォーム利用が増えたことなどにより、住所不明者の増加が鈍化傾向にあります。

より詳しくは、同窓会ホームページの議事録などをご覧ください。

### 2022年度決算報告

2022年度の決算は、左表のようになりました。実は昨年の会報に掲載した「2021年度貸借対照表」において、前払い金の金額と扱いを誤った結果、正味財産の金額が過大に表記されておりまして、訂正してお詫びいたします。訂正後の金額は2022年度の貸借対照表に反映してあります。

2022年度は7万円強の赤字決算となりました。前期比で収入は若干増えましたが、ホームカミングデー費と経常管理費の中のホームカミングデーに関連する会議費交際費、雑費が増加しました。また会報が12ページから16ページになり、増ページ費用が12万ほどかかっています。

現在の同窓会の財務状況は、若干のプラスマイナスはあっても、ほぼ収支均衡していると言っていいと思います。逆にいえば、正味財産の数字を減らさず現状のまま維持するとすれば、新しい事業は始め難いという事になります。

会費納入会員1,500人=会費収入300万円。まず第一歩として、これをぜひ達成したいものです。そこに生まれる若干の余裕で、会員相互の親睦事業、桜修館現役生への支援事業などあたらしい同窓会活動が展開できると思います。ご協力ください。

## 事務局インフォメーション

### 2021年度下期～2022年度の会議ほか

#### 2022年

- 2月26日 八雲が丘学友会
- 3月6日 2021年度下期「理事・監事・評議員 Zoom会議」
- 5月12日 2021年度会計監査
- 5月14日 八雲が丘学友会
- 7月31日 2022年度上期「理事・監事・評議員 Zoom会議」
- 9月10日 11日第74回記念祭
- 9月25日 拡大常務理事会
- 10月8日 八雲が丘学友会
- 10月21日 第10回「八雲が丘賞」表彰式
- 10月23日 同窓会定期総会
- 11月19日 桜修館とホームカミングデー打ち合わせ
- 11月27日 第6回「八雲が丘ホームカミングデー」

#### 2023年

- 1月28日 八雲が丘学友会
- 2月25日 2022年度下期「理事・監事・評議員会議」
- 3月26日 同窓会報拡大編集委員会
- 4月25日 同窓会報制作関係者会議
- 5月13日 2022年度会計監査

### 「八雲が丘文庫」への著書の寄贈についてお願い

桜修館の現役中学生・高校生にぜひ読ませたい著書をご寄贈ください。

●寄贈を受ける著作は書籍のみといたします。

●同窓会ご本人、または恩師ご自身の著作を2冊までとさせていただきます。

寄贈書籍は下記までお送りください

〒152-0023 東京都目黒区八雲1-1-2  
桜修館中等教育学校内「八雲が丘文庫」担当

#### 2023年度役員

- |               |            |
|---------------|------------|
| 理事長・会報編集担当    | 宍戸 迪武(13期) |
| 常務理事・事業担当     | 佐々木浩二(15期) |
| 常務理事・音楽事業担当   | 佐藤 文行(17期) |
| 常務理事・ホームページ担当 | 嶋津 和行(26期) |
| 常務理事・名簿管理担当   | 石川 恵子(35期) |
| 常務理事・会計担当     | 田中 聡美(43期) |
| 監事            | 齋原 利憲(11期) |



これは誰でしょう?

(端季目録9の型E1ヲ目録Cの型E1) 首録分修業王田川 録音録製平柳

### 4年ぶり同窓会定期総会を開催

2022年10月23日(日)、桜修館多目的ホールで同窓会総会が開催されました。3年に1回の総会開催ですが、前年の開催予定はコロナ感染症により延期となっていたものです。当日は約60名の会員が出席しました。

コロナ感染症が完全に治まっているわけではないので、大きめの会場の風通しをよくして、間隔をあけて着席するようにしました。



また、当初は総会の後に懇親会を行うことを予定していましたが、残念ながら中止としました。

#### 活動報告

- 1 会報発行の現状
- 2 名簿の管理状況
- 3 「八雲が丘ホームカミングデー」の開催
- 4 八雲が丘学友会の活動
- 5 記念祭への取り組み
- 6 「八雲が丘賞」
- 7 同窓会ホームページの管理
- 8 学生歌、記念祭歌、寮歌の継承、保存

#### 今後の活動計画

- 一、同総会会員の同窓生としての活動を支援し会員相互の親睦を深める
- 一、旧制府立高校以来の伝統、精神を受け継ぎ、桜修館に引き継いでゆく
- 一、桜修館の発展、生徒の成長に寄与するなど、社会的に意義ある活動をする、

- 1 「八雲が丘ホームカミング・デー」
- 2 会報の編集・発行
- 3 記念祭への参加、出展
- 4 名簿の整備
- 5 八雲が丘文庫
- 6 旧制以来の歌の継承と「合唱の会」
- 7 メモリアルルームの整備と資料の整理
- 8 旧制府立高校創立100周年事業

### 合唱サークルスタート!

同窓会員による合唱サークル(名称未定)を発足させます。練習日、練習場所など詳しい内容は未定ですが、佐藤文行氏(17期・二期会会員)の指導で、旧制府立の歌なども歌います。ぜひご参加ください。参加ご希望の方は同窓会事務局までご連絡を。



事務局インフォメーション

年会費 2,000円 納入のお願い

今回納入をお願いするのは2023年度の会費2,000円です。

③3年会費 5,000円と終身会費は廃止されています。  
3年以上前の払込取扱票は使用しないでください。

- 次の方は、納入していただく必要はございません。
  - ①特別会員の先生方
  - ②かつて終身会費 30,000円を納入された方
 ①②の方には会費払込取扱票が同封されていません。  
万一同封されていたら何らかの間違いですので、事務局までご連絡いただければ幸いです。

<会費納入の方法>

- ゆうちょ銀行、コンビニ  
同封の払込取扱票をお使いください。
- 銀行振り込み  
Pay Pay 銀行 (旧ジャパンネット銀行)  
すずめ支店 (支店番号002)  
普通預金 6271398  
(口座名義) トウキョウトリツダイガクフゾク  
コウトウガッコウドウソウカイ

ATMから振り込む場合およびネットバンキングご利用の場合は、振り込み人の名前を修正して、名前の前に「卒業期・クラス」を入れてください。(例=13Aトリツタロウ)

同窓会への連絡方法

住所の変更、訃報、その他の同窓会への連絡は下記のいずれかの方法でお願いします。

- インターネット  
同窓会のホームページを開き右下の「Contact us」ボタンをクリックするとメールフォームが出ます。
- 郵送  
〒152-0023 東京都目黒区八雲1-1-2  
都立桜修館中等教育学校内  
都立大学附属高等学校同窓会  
または  
〒152-0002 東京都目黒区目黒本町4-2-3-6  
夙戸方 都立大学附属高等学校同窓会事務局



編集後記

3年ぶりのホームカミングデー、巻頭5ページの特集を組みました。開催の可否についてギリギリまで迷いましたが、開催できて良かった！桜修館のご協力を感謝です。「八雲が丘賞」は10周年。こちらも特集風に全表彰状を再録してみました。  
事務局インフォメーションに掲載した定期総会の報告、詳しくはホームページをご覧ください。合唱サークルの募集。ご応募お待ちしております。  
今年の記念祭は9月9日、10日の両日。同窓会ルームを出展し、合唱イベントも行います。  
コロナも治まりつつあり、同期会、クラス会が再開されています。ぜひレポートをお寄せください。  
来年も、会報の原稿締切りは4月末です。

- 同窓会報編集委員会
- 13期 末戸 迪武
  - 14期 川田 秀文
  - 26期 嶋津 和行
  - 35期 石川 恵子
  - 43期 田中 聡美

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます

期・組	姓名	旧姓	
数学	香取良平先生		2022年6月14日
英語	丸山まつ先生		2009年11月28日
1A	尾崎 弘信		
1A	加茂 公成		2017年1月6日
1A	吉良 洋二		2008年11月
1A	窪田 季雄		
1A	富田耕太郎		
1A	中野哲(智之)		
1A	速水佑次郎		2012年12月24日
1A	端山貢明(泰)		2021年5月11日
1A	山崎 尚見		2018年4月16日
1B	伊東 淳		
1B	加藤 武利		2005年11月16日
1B	小谷野和郎		
1B	根岸 寿治		
1B	川口 幸夫		
2C	芝田 徹		2021年10月3日
3A	湯浅 欽史		2020年10月
3B	小坂 晃義		2020年7月23日
3B	前田 芳子	深尾	2022年7月18日
4A	小関 正之		2019年6月19日
4A	中田 了介		2022年12月8日
4A	西原 修		2018年12月13日
4B	猪狩 正修		2019年8月6日
4B	山田 太一		2015年
4B	土方美知子	秋岡	2020年9月2日
4C	大越 剛吉		2021年4月2日
4C	篠原 尚男		2022年3月30日
4C	津村 寛二		2022年6月8日
5A	向來 慶三		
5B	小川 千枝	青木	2019年8月
5C	深川 英雄		2021年2月10日
7A	千葉 功		2021年
7B	野崎 圭子	織田	2023年4月25日
8C	中山 久恵	安井	2023年1月26日
9C	上園 良典		2022年10月29日
9C	米村 紀幸		2022年12月9日
10A	大槻 満		2021年6月8日
10C	徳井 巖		2022年7月6日
12B	曾我部美智代	白井	2022年12月2日
13D	小田 皖正		2018年5月22日
14A	荻野 素彦		2021年12月
15B	中村 文夫		
15D	高松 一		2020年8月5日
16B	井上 修		2022年5月28日
16E	末田 豊		2022年10月
16E	湯本 昌		2022年12月6日
17A	熊沢 武		2018年12月
17B	城谷 克司		2022年6月14日
17F	秋草 裕民		2020年11月15日
18E	前田 育夫		2020年4月
19A	藤本 知男		
19C	鎌田 都	伊藤	2021年8月15日
19F	徳山 涼平		2022年11月
19F	中山 哲司		2022年4月
21C	大石 喜久		
22A	大澤 雪恵	土屋	2022年6月7日
22B	松田 雄年		2022年4月8日
22C	池田 清彦		2020年1月
25B	小木 協仁		2022年12月1日
26E	上野 維万		2020年8月23日
27A	山本 恵一		2021年11月
27E	土屋 建治		2021年5月
30A	國井 久司		2022年8月25日
32F	中村 真紀	長塚	2019年7月28日
35D	鈴木洋一郎		2021年1月25日
39D	有田 健一		2021年5月4日

同窓会事務局に連絡のあった方のみ掲載しています